

令和3年度 住民懇談会（菊陽北小学校区）

日時 令和3年12月20日（月） 19:00～20:30
会場 ふれあいの森研修センター
参加者 33人

- 1 開会
- 2 町長挨拶（町の最近の取組について）
- 3 第6期菊陽町総合計画の概要について
- 4 質疑、意見交換
- 5 閉会

◎質疑、意見交換でのご意見など

《菊陽空港線の延伸について》

・菊陽空港線の延伸に伴い、馬場踏切が高架になると聞いている。旧国道57号（県道熊本菊陽線）へ降りることはできるのか。

→高架（跨線橋）ができると、馬場踏切を通行できるのは歩行者と自転車等に限った通行になるよう、県（県北広域本部）と鉄道事業者と協議中です。（馬場側の高架から）旧国道57号に降りることはできません。

・延伸に伴い、長塚区では10件の住宅が移転する。長い人では30年、短い人でも10年住んだ場所を離れることになる。それぞれの人に配慮して事業を進めてほしい。

→令和4年度から用地測量、建物移転調査に入る予定です。地元説明会や戸別訪問などを通じ、丁寧に説明しながら進めます。

《地下水への負荷について》

・ソニーに加え、TSMCの進出が決定した。工場では大量の地下水をくみ上げることになると思うが、生活用水への影響はないか？

→企業進出の際には、県地下水保全条例に基づき水質や水量への影響調査が行われます。また、企業には地下水かん養への取り組みが求められます。

《交通渋滞、通学路の安全について》

・原水駅の南側に144戸の新たな宅地分譲の計画があるということだが、渋滞

緩和につながる菊陽空港線の延伸は分譲に間に合うのか。

- 菊陽空港線の延伸は当初の計画で令和8年度完成予定としています。前倒しを目指し整備を進めています。今のところ住宅地が先に完成する予定なので、生活道路や通学路の対策として区画線やカラー舗装により安全性を高めることにも取り組みます。
- ・菊陽バイパスの渋滞がひどい。町の道路だけでなく全体の計画を立てて取り組むべき。
- ・通学時間帯も交通量が多く、スピードを出す車があるため危険を感じる。
- 町内全域で、国道、県道、町道に関わらず渋滞状況、通り抜けの状況を調査します。その上で、町の道路は優先順位を付けて対応し、国道や県道は各道路管理者と協議を進めます。

《農耕者の通行について》

- ・工業団地の影響で、農耕車が県道を横断しづらくなっており、対応をお願いしたい。
- 離合箇所と信号機を設置することで対応したいと考えています。信号機の設置は警察に要望します。

《北小学校の整備について》

- ・校区内の多くの地区で人口が増加しており、北小学校の増築が続いているが、防災機能やバリアフリー機能を備えた学校として整備をお願いしたい。
- 人口増加を考慮し、まずは増築を進めていますが、完成したら学校からの意見を聞きながら、学校の機能の充実に取り組んでいきたいと考えています。

《空港アクセス鉄道について》

- ・町内に空港があるが、車以外の公共交通機関で行くには非常に不便。空港アクセス鉄道はぜひ町から伸ばしてほしい。計画の進捗は。
- 県はT S M C（台湾積体電路製造）の進出を踏まえ、セミコンテクノパークや原水工業団地へのアクセス向上を含めた県全体の交通ネットワークの利便性を最大化するため、三里木駅ルートに加え、原水駅と肥後大津駅の分岐ルートも含め再検討する意向を表明しています。検討の行方を注視し、情報収集に努めます。